

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	公共下水道ストックマネジメント基本計画の策定					
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係	課長名	廣瀬 裕

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	4 - 1	-
【施策名】 市街地の整備		総合計画書 (ページ)	83	

予算名	款	2	事業費	項	2	建設事業費	目	1	建設事業費	事業	13	委託料
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	-------	----	----	-----

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 下水道施設全体の公共下水道ストックマネジメント基本計画の策定	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 公共下水道ストックマネジメント基本計画を策定すべき面積
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 点検・調査から修繕・改築に至るまでの一連のプロセスを計画的に実施し、下水道施設全体の管理を最適化するため公共下水道ストックマネジメント基本計画を策定する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 公共下水道ストックマネジメント基本計画策定済み面積/ 下水道事業面積
	③ そのために何をしましたか。 施設情報の収集・整理、リスクの評価、施設管理の目標設定、長期的な改築事業のシナリオ設定、点検・調査計画の策定を公共下水道ストックマネジメント基本計画として策定した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 公共下水道ストックマネジメント基本計画を策定した面積

2 指標の推移			単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	ha			1,009	/	/
	成果指標	②の数値	%			100	/	/
	目 標	②の目標値						
			目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値				1,009	/	/	

3 経費	事業費(実績)		円			7,884,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円			3,745,000	
		特定財源	円			4,139,000	
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人			0.3	
		所要人数(再任用)	人			0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円			2,473,200	
職員人件費(再任用)		円			0		
事業費+人件費		円	0	0	10,357,200		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	平成30年度開始。東大和市の下水道は、昭和50年度から荒川右岸東京流域下水道関連公共下水道事業として整備を推進し、平成29年度末の普及率は99.9%に達している。これらの施設のうち昭和40年代に整備した施設は、供用開始から50年を迎え汚水管渠の老朽化等による道路陥没等、事故の危険性が高まるとされている。このことから、計画的かつ効率的な下水道施設の維持管理が必要となるため、ライフサイクルコストの最適化を図ることを目的に公共下水道ストックマネジメント基本計画を策定した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。

仕 事 の 内 容	公共下水道ストックマネジメント基本計画の策定				
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係	課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	今後の改築事業費等について、市議会から質問や問い合わせがあった。	

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組みは無い	取組手法
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 点検・調査から修繕・改築に至るまでの一連のプロセスを計画的に実施する。	

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 定期的な公共下水道ストックマネジメント基本計画の見直しを行なう。	
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 公共下水道ストックマネジメント基本計画による下水道施設の維持管理に問題点が発生していないか確認する。	
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。	

成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。
----	----------	----	-------------